

磐城時報

日刊
八夕
石城地方新聞
編輯長 岡田 誠
印刷所 磐城時報印刷所
電話 一四三三
代金 一月一元二角
半年六元
一年十二元
廣告料 一行一文字一日五角
印刷部 一行一文字一日五角
電話 一四三三

五百名の差押へのうち

競賣は六十八名

その裏面に氣の毒な事情

税金の滞納は全國を通じての事結局は競賣に附されるよりも苦で各町村共徴収については非常な手数を努力を拂つてゐるが、平町役場でも大正十五年年度の町税の前後二期滞納者に対し最後の通達をして已むなく五百名の財産差押へを執行したのであつたが結局に於て競賣処分したのは僅か六十八名に過ぎなかつた、何人も税金滞納の爲に財産競賣をやらされる事は嫌な事であつても生活苦からは税金よりも先に米の代を工夫せねばならずそれが延び／＼になつて財産に貼紙をされるのであるが、町で取扱つた五百人中で競賣をうけたのが六十八名に過ぎなかつたといふ裏面には誠に悲惨なる事情が伏在してゐる、期日を定め町役場吏員が古物商を同行し競賣を執行すれば殆んど捨て賣り同様の値段で品物は古物商の手に渡るのであるが、買れば安値でも新らしく買へば相當の値段のする家財道具であり又一時席した上湯本町に來り解散するでも家の中になくはならぬも、定定であるが提出事項は左の如くであるから假へ賣られても古物商と相談して買戻さねばならぬが、斯くては一割乃至二割の手数を取られる事になるのである。

平の特設電話

十一月頃開通
平郵便局の特設電話は近く取付工事に着手し十一月初旬開通の見込みであるが架設料の残額三百二十圓は来る二十日限りで、さきに第一回六十圓の拂込をうける人達こそは全く氣の毒な格せぬやう注意してほしいと町民であらう、競賣に従事する便局では語つてゐる。

湯本町に開かる

縣下町長會議

九日は協議會を開き
十日は小名濱から江名廻り
縣下町長會議は既報の如く九日、十日の兩日湯本町に於て開かる。十日は各町毎に持ち寄りの提出協議事項や打合せ事項を審議し同夜は湯本町主催の盛大な歓迎の宴會に臨み十日は約二時開程協議會を開いた後湯本町の案内で磐城炭礦の軌道に乗り小名濱に至り同海岸から船で江名町に渡るののであるが、買れば安値でも新らしく買へば相當の値段のする家財道具であり又一時席した上湯本町に來り解散するでも家の中になくはならぬも、定定であるが提出事項は左の如くであるから假へ賣られても古物商と相談して買戻さねばならぬが、斯くては一割乃至二割の手数を取られる事になるのである。

北海道の農業

郡農會大山技師は去月二十八日北海道方面農事調査のため出張中の七日歸郷した、大山氏は「北海道は内地と頗る近似してゐる。たゞ、農業などは從來

不景氣が崇つて 酒造家大にこぼし

醸造見込高は二萬六千九百七十七石に比ぶると一千二百五十八石の減石となつてゐるが之なども財界の不況による實行の不良を見越して手控へたためである。

好問校少年團

尋常高等小學校では校長渡邊清等發起の下に少年團を組織し會員は左の如き誓約をした。
一、神明を尊び皇室を敬びます
二、人の爲め世の爲め國の爲めに盡します
三、少年團の掟を守ります

植田町附近

植田警察署管内には去月中旬から鴈チヌが猖獗を極めてゐるが本月に入り植田町小野塚まら(一〇)外一名 錦村小野塚(二)を始め入遠野村佐藤泰太郎(三)を外八名の患者が續出し尙減するばかりでそれに従つて持病蔓延の兆あるので目下豫防策を講じてゐる。

双葉政、民の泥試合

双葉郡では縣會議員選挙後民政黨名は検査の強制処分により平刑に屬する釘本衛雄派の運動員数務所に收容さるゝに至り、双葉三名の收監者を出すに至つたのである。

益々擴大の模様

昨夜二名收監さる
双葉郡では縣會議員選挙後民政黨名は検査の強制処分により平刑に屬する釘本衛雄派の運動員数務所に收容さるゝに至り、双葉三名の收監者を出すに至つたのである。

草野統計講習

草野
中學校では本年も年中行事の發火演習をなす事になつたが今週土曜日には第一學年、來週は第二學年と順々に之を行ふ事とし突破してゐる。

農實組合總會

磐城
村下船尾農實實行組合總會は十日午前十時から同村熊野神社に開き神尾技師の講話がある。

警中發火演習

磐城
林署好適會の松茸狩りは九日午前六時十分平驛發列車で四倉驛大野村玉山嶺泉裏白岩山に於て行ふ筈であるが一行百五十名を突破してゐる。

千葉發身の公判

足かけ四年越しの大事件
去る大正十三年警城銀行富岡支三學年以上は來月中旬小名濱方面に勤務してゐる貸付係千葉發身に於て三日間の豫定で行ふ身が行金四萬六千餘圓を横領費である。

平第二校の勤儉標語

平第二小學校では目下實施中の勤儉週間につき各級生徒より標語を募集した處左の如き面白いものが出來た。
一等「困る困るの無駄つかひ」 尋四 山本マサ
二等「現金は流水貯金は大金」 尋六 鈴木ミツ
三等「清潔を好む人は心もきれい」 尋四 伊東好子
四等「早起き早起きよい子供」 尋五 菅野とし

四萬六千圓を横領した

千葉發身の公判
去る大正十三年警城銀行富岡支三學年以上は來月中旬小名濱方面に勤務してゐる貸付係千葉發身に於て三日間の豫定で行ふ身が行金四萬六千餘圓を横領費である。

不景氣が崇つて 酒造家大にこぼし

醸造見込高は二萬六千九百七十七石に比ぶると一千二百五十八石の減石となつてゐるが之なども財界の不況による實行の不良を見越して手控へたためである。

馬上方の 女中自殺

植田町郵便局長馬上誠一氏方女中、中小名濱町生れ伊藤とく(二〇)は去る五日同家の女中部屋で劇薬硫酸を多量に嚥下して自殺をはかったのを発見直ちに應急手当を施したが七日朝死した。原因は痴情關係らしい。

平町團體旅行

吉田直之助氏主催、盛屋若主人山崎清三氏會計監督として計劃された茨城縣笠間稻荷參詣、栃木縣日光參拜、鹽原清遊の遊覽團體は日程三日にて十五圓といふ低廉な會費で眞に會員の愉快を満たす爲めの企てで多数の希望者の参加を見てゐるが、旅行決定は左の通りである。

丹後澤鯉釣會

丹後澤の鯉釣大會は来る十六日午前五時から開催さるゝが會費五十錢、當日は二百名の鯉を放した上一等掛時計、二等目録時計、三等反物、四等上酒等の賞品を授與する。

平窪村の 梨小屋焼く

平窪村大字中平窪宇桂進六番地

谷田林之助方所有梨小屋から七日後六時四十分頃發火し同七時十分頃火した原因は林之助の長男初太郎が提灯を持って行き置き忘れて来たためであるといふ。並に中川きみ方酌婦遠藤しげ(一九)の兩名は客喪きをし科料五圓に處さる。

酌婦にお灸

大越たかよ方酌婦佐藤かめ(三)並に中川きみ方酌婦遠藤しげ(一九)の兩名は客喪きをし科料五圓に處さる。

寒さに是非

毛糸各種 新荷着 手編用に防寒具用にイヨク需用が激増してまゐりました是非御用命を

三井呉服店

平町三丁目 電話三十八番

治淋薬 **ラウタール**
其効顯著なるに實験者は驚く
眞に淋病、消渴の特効新薬なり
一、痛み苦しむものは直ちに試みよ必ず救はれん
定價三圓也 重症用拾圓

秋冬帽子
子供帽子
鳥打帽子
中折帽子

御好品を澤
取揃へました
ツルヤ
平四

代理 大平屋薬舖
平一丁目 電話六四二

代理 山野邊藥局
平町五丁目角

代理 大平屋薬舖
平一丁目 電話六四二

代理 山野邊藥局
平町五丁目角

君はいゝ型の
洋服を求めら
れたね。誰かへ?
いや君コレは例の
ソレ正札堂さ



平町正
町車場
堂札

例年の通り
なべ焼うどん
本日からはじめました
遠近多少にかゝらず出前迅速に致します
平町二丁目横丁(郡役所通)
藤寅
電話(呼出)三〇五番

女學生同居者希望
三年生以上 貳人
裁縫及女學校生ニテ朝夕家事手傳
自炊生活同様ニテ通學希望者
問代不要 委細面談
平紺屋町 加納テウ

代理 大平屋薬舖
平一丁目 電話六四二

代理 山野邊藥局
平町五丁目角

電話六二五番
平南町(平館通り)
岡山寫眞館

家庭の温泉 別府湯之花
本品は天然純粹の礫粉にして、リウマチス、神經痛、貧血症、神經衰弱、子宮内膜炎、痔疾、田虫、水虫等に効あり、其の他健者温浴すれば心身爽快ならしむ。

特約店 平町二丁目 大平屋薬店
電話六四二

松たけ大暴落!!!
好季節!!!

牛鳥肉 田町料理
電話四三

御料理 電話四三